

寺報みようとく

浄土真宗本願寺派妙徳寺
 (安芸教区志和組)
 発行責任 大江了証
 東広島市八本松町飯田六〇二
 電話〇八二一四二八〇一四四



護持会総会を開催



安居会を開催

雨期の法座は安居会といいますが、道端に出てくる生き物を傷つけないように出歩くことを控えた仏道修養を心がけるといいます。お釈迦様に由来する仏教伝統行事です。

一月の法座以来、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に法座を中止してまいりました。別欄の通り当寺の行事開催方針を定め、感染リスク軽減を配慮した上で徐々に寺院活動を再開、法座回数を減らして実施することとなりました。

法座後に総会開催

法要後の午後三時、延期となつておりました護持会総会を開催され、役員さんから会費の収納報告と支出状況、今後の事業計画などの説明がありました。概要としては、四百件を超える賛同者を得たこと、発足式でお示した趣意書の予算計画を実施することの説明をされました。また今後、本堂に車イスを乗り入れることができるようバリアフリー化を図る、トイレの利便をよくするなど、環

新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた行事開催のための当寺の方針

3月以降、当寺でも行事を自粛しております。しかし今後当面は国と広島県の対応方針、対応要請を踏まえて次のことを取り組み、安心してお寺の活動にご参加いただけますよう対処いたします。

1. 「3つの密」の徹底的な回避のため、時間や回数、席の配置具合などに配慮を心がけること。
2. 参加者には体調管理、マスク着用、手洗い・咳エチケット、人と人との距離確保等の基本的な感染対策の実施を呼びかけること。また参加直前に検温を行っていただき、37.5℃を超える場合は参加を自粛するようお願いすること。
3. 感染症患者が発生した場合に備え、参加者の利用状況及び連絡先の把握・管理をすること。
4. 当面は大人数での会食、また県外への人の移動を伴うイベントを実施しないこと。
5. 国や県、市から新たな対象方針が示された場合、これらの対処内容を随時見直すこと。

当寺では今後その都度必要と考えられることに取り組み、法座活動の再開にご理解を賜るための努力を惜みず、安心してお寺の活動にご参加いただけますよう対処する所存であります。門信徒をはじめとするお同行皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

環境整備のための基金を少しづつ積み立てる

今年度は本山へお納めする賦課金は感染症対応についての未寺助成として二〇%減免されることとなり、その相当額を環境整備基金へ増額することができました。しかし今後このことを考慮し、収支の見直しを考慮することとなりました。事業内容について、役員による寺報編集会議を行う他、今年十一月の報恩講から次期会費納入を依頼し、次回の総会では二年度の決算報告と三年度の収支計画を説明することとなります。

まだ発足一年目ですが、多くの皆さまにご協力いただくことができたこと、とてもありがたく思います。賜りました会の収入を大切に活用させていただきます。また、賛同者の輪がさらに広がりますことを願っております。

一語法話

『正信偈の十二光』③

普放無量無辺光

一切群生蒙光照

私のへウレカ

皆様方におかれましても、いろんな場面で「わかつたぞ」と感じられたことがありと思えます。このようなご経験を「へウレカ」の情報として、寺報に掲載して内容が充実できればと考えています。浄土真宗の関係でなくても、日常生活に関することでも構いません。皆様方からの投稿をお待ちします。今回は総代の土屋さんに寄稿していただきました。

こんにちは赤ちゃん

私がママよ

梓みちよさんが歌ったこの歌を作詞した永六輔さんは大阪の浄土真宗のお寺の次男坊。「私がママよ」の名乗りの歌詞は、お寺でのお育ての賜物と思えます。

かつて私の妹に子が生まれた時、身内びいきではあるが我々のところにこんなかわいい子どもが生まれるのかと感動しました。生まれてきた身内である甥がかわいと思った時、いつも嬉しいと不思議な感動をおぼえていました。我々はだわりに取り巻かれ



て苦しみ、その苦しみを取り除こうと一層自分で解決しようと苦しんでいる日々。そんな限りある狭い世界ではなく、無限の不思議の世界のあなたの親が「ここにおるぞ」との名乗りがお念仏ではないでしょうか。浄土真宗の教えには「こんな名乗りの親様がある」と、日々の生活はすでに深い感動を生む呼び声に取り巻かれていることが、信徒、門徒の喜びではないでしょうか。

身内びいきの馬鹿ぶりの川柳「まんまんちゃん」と仏間から聞える孫の声、あわてて唱える「なむあみだぶつ」(文責 土屋隆生)

二の光と示してお教えくださいます。それぞれのような働きなのか、親鸞聖人の書かれたご和讃を通して味わう、今回はその三回目です。

③無礙光

礙とは、石のように固くなるた疑いの心のこと。人間には誰

行事予定

新型コロナウイルス感染リスク軽減を目的に法座回数を当面減らすことといたします。ご注意ください。

七月五日(日) 午後一時から四時

川上仏婦法座

講師 安芸太田町 正覚寺

清胤 祐子師

八月六日(火) 午前八時から八時半

広島原爆忌

八月六日(火) 午後一時、午後六時半

※お昼のお参りは物故者追申会を併修します

うらばんえ

孟蘭盆会

講師 志和町志和 長松寺

笠岡 潤聖師

八月十五日(木) 午前十一時半から正午

戦没者追悼法要

九月七日(月) 午後一時、午後六時半

※昼席の後、合同墓前のお参りをします

あきひがんえ

秋彼岸会

講師 志和町内 西方寺

安國 真雄師

もが自分の考えは正しいという我を保持しています。そして、自分の我を認めてくれる人には好意を抱き、反対に自分の我を否定してくる相手には敵意を抱きます。

しかしそもそも仏法は無我の教えです。だから、仏法を聞けば聞くほどに自分のすべてを見抜かれてしまい、我を否定されているように感じ、心を閉ざしてとげとげしい心に変わってしまいます。これが石

『藝州賀茂郡飯田村』
「獨歩行」
竹本省三

総代の竹本さんに郷土の歴史についてのコラムをお願いしています。

あらためて郷土の歴史を知り、先人に思いを馳せながら読ませていただきます。

其三 (古代山陽道)

国造りを構築していた時代では先ず地方行政組織を確立させ、民衆の掌握・労働力確保が第一歩となります。三十人程度の小集団を括り「郷戸」とし、千五百人程度をまとめ「郷」、複数の郷を統括し「郡」、郡の行政官に「郡司」を置き、複数の「郡」を取り纏め「国」とし国司を置きました。

次に東山道・北陸道・東海道・南海道・山陰道・山陽道

のように固くなった疑いの心、礙りです。つまり我を抱えた人間である限り、仏教を求めていくとどうしても心に礙りが起きて、これ以上どうする「こともできなくなってしまうのです」。

無礙光とは、阿弥陀仏が私たちの心にできた礙りというシロリをもみほぐし、またやわらかく穏やかな心にして下される、そんな働きのことをいいます。

「和讃を読んでみましょう」
「光雲無礙如虚空」
一切の有礙にさわりなし
光澤かすみぬものぞなき
難思議を帰命せよ

光雲無礙如虚空というのは、太陽の光はたとえ途中に雲があつたとしても、まるでそこに何も無かつたように雲を突き抜け、その先を明るく照らします。阿弥陀仏のお力もまた、

どんなに私が礙りを起して自分の心を隠してしまつたとしても、その礙りを貫き自分の心を明らかにして下される。だから、「一切の有礙にさわりなし」どんなに強い礙りが起きたとしても問題ではない。「光澤かすみぬものぞなき」この光澤の澤とは、潤澤という事で、うるおいのある滑らかな様子を言います。

「阿弥陀仏の無礙光は、礙りによってカラカラに乾き、

疑いや悩みによってカチカチに固まった私の心にいるおいを与え、なめらかな優しい心へと変えて下されるのです。

このことはとても不思議な事であり、怒りや疑いに満ちた心がやわらかく穏やかな心に変えられるという、体験した本人でも信じられないような事だから、最後に「難思議を帰命せよ」と言われているのです。

(次号へ続く)

西海道の「七道」を広域行政単位として設けました。

更に大陸の知識を学び取る必然性から外交に力を注ぎました。「山陽道」は大陸・朝鮮半島に最も近いのです。賀茂郡には賀茂・志芳(志和)・造果(造賀)・高屋・入濃(入野)・訓(養)・香津・木綿(西条盆地)・大弓(大山)があつたそうです。そこで行政単位を結ぶ交通インフラが当然必要となつてきます。三十里(十六km)ごとに駅家を設け、伝馬廿疋を常に置きました。梨葉都宇・鹿附・木綿・大山・荒山という駅家があつたそうです。大山は大山峠を指しますが、その他の地名は確定出来ていません。飯田は峠に隣接するので、間違いなく通過したでしょう。その東隣に安芸国分寺があります。お寺の南側を通っていたと想定し埋設物調査がされましたが、

比類する石畳・瓦類はありませんでした。寺家村では「寺家の上道」に夕作という祠があるので、木綿をユウズクリと読ませ、この道が「そうだ」と頑なに思い込んでいる人が大勢います。合理的根拠が満たされていませんが、そうとして置きましょう。その道と仮定した場合、深堂川は飯田村と米満村境で岩盤が露出し激流となつているので、道は頻りに流失に晒されるのです。また駅屋の間は三十里ですから大山峠から十六kmの地は高屋辺りまで遠のきます。古代人は殊の外、自然や先祖(三ツ城古墳)を崇拝畏怖し事を進めますので、このルートを辿るには疑問が払拭されないので、

随唐の官人を奈良・京都に招く道なので、国の威信(背伸びしてまご)をかけて造られました。その内、海路の方が輸

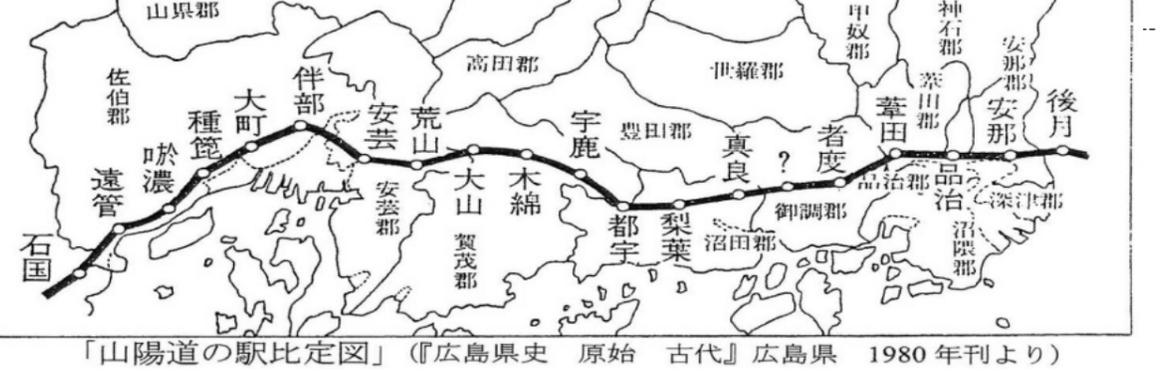
送・人の移動も便利と分かつてきたのでしょう。六六三年、朝鮮半島西岸の白村江の戦いでは日本は何万の軍隊を派遣しましたが全滅しています。

その後、唐が大唐として攻めて来ると怯え、国防の為に「大官道」を設けたという学説もあります。広ければ敵の進軍にも有利になる道理となるので、信じ難いものです。唐では内乱が勃発し滅びたので、日本侵略はなくなつたのです。

古代山陽道は時代の大きななうねりの中で造られ、また消え、忘却の彼方です。

八本松在住の広島大学名誉教授(古代史)西別府先生に随行し、古代のロマンを求め歩き続けています。

(次号へ続く)



妙徳寺ホームページ
<http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/>
ホームページ内で行事予定を随時更新しています



志和組テレホン法話「みのりの電話」
433-4989 (しじゅうさんざん、しくはっく)

7月 1日	～	浄蓮寺	沼田典生
7月 11日	～	善正寺	武田昭彦
7月 21日	～	志和奥屋	向井邦彦
8月 1日	～	報専坊	松島純以
8月 11日	～	天龍寺	西野英昭
8月 21日	～	西方寺	西國晴子
9月 1日	～	八本松	岡本治隆
9月 11日	～	照栄寺	岡井英隆
9月 21日	～	長松寺	笠岡純一

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。

編集後記
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、あらゆる行事が中止せざるを得ず、寂しく感じたりおりましたが、時間を短縮するなどにより、少しずつですがようやく縁を結ぶことができるようになりました。何も心配なくお会いすることができた時のことがひどく昔のように感じられます。

今後ますます新しい生活の仕方、これからのコミュニケーション方法を考えていかねばなりません。縁をきつてはずにはおれないお互いでありませう。

どうぞご自愛ください。元氣でお会いできますことを楽しみにしております。

(編集委員会)

「写経の会」開催予定日
7月 11日(土) 午後2時より / 24日(金) 午後2時より
8月 29日(土) 午後2時より / 28日(金) 午後2時より
9月 12日(土) 午後2時より / 25日(金) 午後2時より
申し込みは 金曜日の部代表 西本さん(428-2466)、土曜日の部代表 廣川さん(428-5935)または妙徳寺へご連絡下さい。

「妙徳寺仏教壮年会例会」開催予定日
7月 11日(土) 午後7時から定例会
8月 8日(土) 午後7時より定例会
9月 12日(土) 午後7時より定例会
毎月第2土曜日午後7時開催を原則としています。

「おみのりサロン」開催予定日
7月 13日(月) 午後2時より1時間半 (『大乘』講読会) 座談会など
8月 19日(水) 午後2時より1時間半 (『大乘』講読会) 座談会など
9月 23日(水) 午後2時より1時間半 (『大乘』講読会) 座談会など

「お茶の会」開催予定日 (参加者募集中、ご連絡ください)
実施日について電話かホームページでご確認ください。